

# 第 5 章

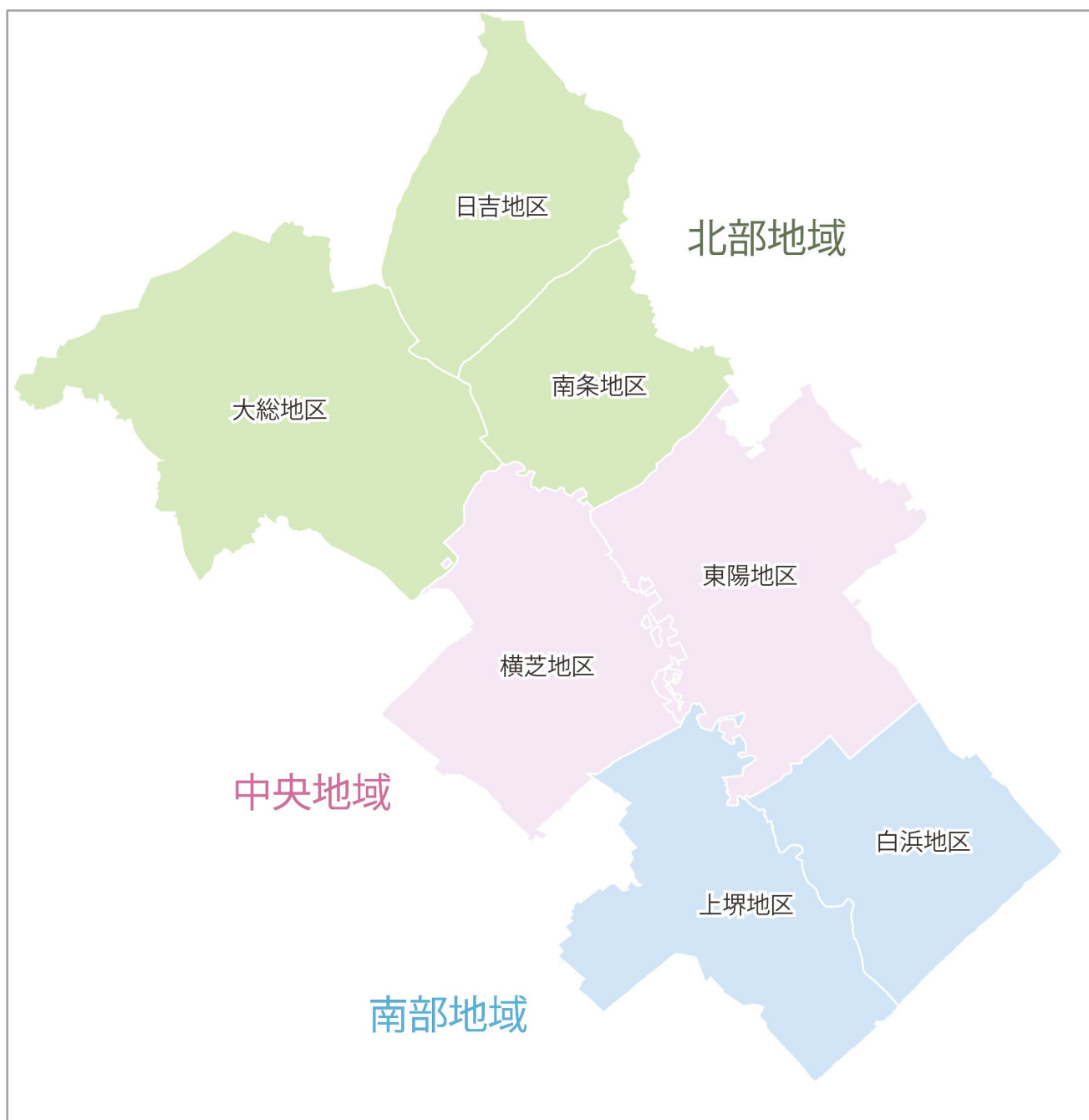
## 地域別構想

1. 地域区分
2. 北部地域
3. 中央地域
4. 南部地域

## 第5章 地域別構想

### 1 地域区分

地域別構想の地域設定にあたっては、コミュニティ形成圏や土地利用、地形等の特徴を踏まえるとともに、町の基本構想の土地利用エリア区分に即しつつ、今後の地域づくりに向けた新たなまとまりを考慮することとし、地形等の自然条件や土地利用の状況等の類似した北部地域（概ね日吉地区・南条地区・大総地区）と中央地域（概ね横芝地区・東陽地区）および南部地域（概ね上堺地区・白浜地区）の3つの地域に区分します。



## 2 北部地域

### (1) 地域の概況

#### 【位置】

町の北部に位置し、大総地区、日吉地区、南条地区からなり、山武市、芝山町、多古町、匝瑳市に接しています。

#### 【土地利用】

地域の中央部を流れる栗山川に沿って水田が広がり、栗山川東側には台地が点在しています。台地上は畑地として利用されており、台地には斜面林が分布し貴重な里山景観を形成しています。また、地域の西側は丘陵地となっており、緑地が広く分布しています。

集落は、台地部の裾を通る町道沿いに分散的に広く分布がみられます。旧大総小学校、日吉小学校及び旧南条小学校の周辺に駐在所や保育園・郵便局・集会施設等の公共公益施設の分布がみられます。また、ふれあい坂田池公園に隣接して横芝中学校があります。

地域の西側の山武市との境を南北に通る主要地方道成田松尾線と、北東部を東西方向に通る主要地方道八日市場八街線沿いに各々横芝工業団地とひかり工業団地が形成されています。

成田空港の更なる機能強化に伴い、大総地区は全域が、日吉地区と南条地区は両地区の西側が騒音区域となり、大総地区の西部及び栗山川沿いには、航空機騒音障害防止地区（町北部の一部は航空機騒音障害防止特別地区）の指定がされています。

#### 【交通条件】

地域の西側には、松尾横芝 IC、南東側には横芝光 IC があり、広域交通網へのアクセス性が良くなっています。さらに圏央道及び銚子連絡道路は延伸に向けた整備が現在進められています。また、地域内には、幹線道路として主要地方道八日市場八街線、主要地方道成田松尾線、主要地方道横芝下総線、一般県道横芝停車場吉田線、一般県道横芝山武線、町道 I - 1 号線等が通っています。

公共交通としてはデマンドタクシーの他、町と成田空港等を結ぶ横芝光号成田便及び空港シャトルバスが運行されています。

#### 【人口等】

人口は減少傾向にあり、世帯数はほとんど変化がありません。少子高齢化が進み、特に高齢化率は平成 27 年で 37.0%と比較的高く（町平均 33.7%）なっています。

#### 【公園、地域資源】

地域内には、公園として、ふれあい坂田池公園、光スポーツ公園などがあります。

地域資源として、上記公園のほか、地域の中央部を流れる栗山川（ふるさとの川整備事業による整備）、坂田城跡と梅林、鬼来迎（国の無形文化財）の舞台である広済寺、中台古墳群（殿塚・姫塚）などがあります。

## (2) 地域の課題

### 《課題①》

人口減少・少子高齢化を踏まえた持続的な住環境の整備とコミュニティの維持が求められます。

#### 《対応方向①》

- コミュニティ中心地の維持・形成
- 広域道路による地域分断や航空機騒音等に対応したやすらぎのある集落環境の形成
- 総合的な治水対策の推進による安全性の確保
- 栗山川、坂田池等の水質浄化

### 《課題②》

広域的なアクセス性を活かした農業・工業による生産性の拡大が求められます。

#### 《対応方向②》

- IC 周辺への計画的な土地利用の誘導と新たな玄関口としての顔づくり
- IC や周辺の広域幹線道路へのアクセス道路の整備
- 既存工業団地に係る周辺交通条件の改善や企業誘致用地登録制度の活用
- 優良農地の保全、農業生産基盤の拡充整備
- 周辺の自然環境と調和のとれた産業地景観の維持・形成

### 《課題③》

豊かな自然・歴史・文化資源の保全・活用が求められます。

#### 《対応方向③》

- ふれあい坂田池公園及び周辺の環境保全・育成
- 坂田城跡や広済寺等歴史的・文化的資源を活かした周辺環境の整備
- 地域に広がる里山景観、田園景観、歴史的・文化的景観の保全・育成
- 栗山川等の良好な自然環境を活かした自然とふれあえる場、水辺空間づくり
- 防災性を有する自然環境の保全・育成
- 土砂災害など自然災害への対応

### （３）地域づくりの目標

#### 広域的なアクセス性を活かした“産業”と豊かな“自然”が共生する暮らし

横芝光 IC 周辺においては、広域交通網へのアクセス性や豊かな自然環境を活かし、産業拠点としてだけでなく、町の複合拠点として、産業や自然が共生する地域づくりを推進します。

集落部においては、居住環境の維持・向上を図るとともに、斜面緑地や河川の適正な保全・管理による安全・安心な地域づくりを推進します。

### （４）地域づくりの方針

#### ① 産業特性を活かした地域づくり

##### IC 周辺における計画的な土地利用の展開

- 地域内から松尾横芝 IC や横芝光 IC、国道 126 号及び国道 296 号へのアクセス道路（主要地方道横芝下総線、一般県道横芝停車場吉田線等）の整備促進による周辺交通条件の改善を図るとともに、企業誘致用地登録制度の活用により企業誘致の促進を図ります。
- 横芝光 IC は、本町への玄関口の一つであることから、IC 周辺の修景化や案内サインの設置など、玄関口としての環境整備を図るとともに、周辺の農業環境・自然環境との調和、浸水対策など安全性の確保に配慮しながら用途地域の指定を行います。また、国道 126 号、空港へ直結する幹線道路（要望）、銚子連絡道が交差する広域交通の結節点となることから、バスターミナルや都市交流施設の整備、民間企業の誘致など、町の複合拠点としての整備を促進します。
- 空港へ直結する幹線道路（要望）については、交通利便性を活かした新たな工業・物流施設の誘致など、本町の産業振興に大きく寄与する道路となることから、最優先での整備を促進します。

##### 農業振興による活力のある地域づくり

- 農業については、優良農地の保全を図るとともに、農業生産基盤の拡充整備を図り、農業の振興を図ります。
- 農産物等の販売施設、食の場づくりを進め、地産地消の促進と観光客の増加を図り、農業と観光・商業との連携による産業振興を推進します。
- 農地は、温室効果ガスの吸収源としての役割も担うことから、引き続き、積極的な利用に基づく農地の保全・管理を図ります。



区画整理された水田

### 既存工業地の操業環境の確保

- 既存の横芝工業団地とひかり工業団地は計画的に整備され、周辺の自然環境と調和のとれた産業地景観を呈しており、その維持を図ります。
- 工場が集積する工業地では、工業機能の維持・向上を図るとともに、公害の防止対策や緩衝緑地の設置及び維持に努めます。
- 成田空港への近接性や広域交通網へのアクセス性を活かし、優良企業の誘致を推進します。



横芝工業団地

## ② 持続的な居住環境づくり

### 暮らしやすい安全安心な地域づくり

- 小学校・旧小学校周辺の地区中心地（生活交流拠点）においては、既存の集積を生かしながら公共サービス・情報機能等日常生活サービスの利便性の向上を図ります。旧大総小学校、旧南条小学校については、多様な主体との連携・協働のもと、地域の活力創出に資する新たな利活用を図ります。
- 地域の一体性の強化による地域住民の生活利便性の向上を図るため、栗山川の東西を結ぶ町道Ⅰ－７号線の整備を促進します。
- 空港へ直結する幹線道路（要望）については、空港就業者の通勤や空港からの本町への観光客のアクセス等、定住者の確保や観光振興に大きく関わるものであることから、最優先での整備を促進します。
- 歩行者が安全・安心に移動ができる環境づくりに向けて、十分な歩行空間の確保や自転車レーンの設置等、ハード面の環境改善を図るとともに、自転車利用者の交通ルールの順守やマナー向上に向けた啓発活動の実施など、ソフト面からも安全対策を推進します。

### やすらぎのある集落環境の維持・向上

- 集落部においては、幹線道路への歩道の設置や生活道路・排水施設の整備、合併処理浄化槽の普及促進等による集落環境の改善を図ります。
- 銚子連絡道路等の広域道路による地域分断や、航空機騒音障害防止特別地区に指定された地区があることから、これらに十分配慮した環境対策を図り、やすらぎのある集落環境の形成・向上を図ります。
- 汚水適正処理の推進により、栗山川等の公共用水域の水質浄化を促進します。
- 成田空港の更なる機能強化に伴い、大総地区は全域が、日吉地区と南条地区は両地区の西側が騒音区域となり、生活環境の悪化が懸念されます。騒音区域においては、引き続き住宅地として維持していくため、騒音区域下住宅における優遇制度や、住宅防音工事等により住環境の悪化を最大限抑える取組を推進します。
- 成田空港の更なる機能強化に伴い、北部地域の広大な農地が騒音区域に含まれることから、営農環境の悪化が懸念されます。このため、営農環境の改善と農地の有効活用を図るため、農地の基盤整備事業を行い、農地の大規模化、集約化を促進します。



### 空き家の有効活用と土地利用の検討

- 本町においては、郊外部にも既存集落が各所に分布しているという特徴を有していることから、都市拠点を中心とした土地の高度利用を図る一方、既存集落にも配慮した適正な土地利用の展開など、郊外部における人口の維持・確保に資する環境整備を推進します。
- 既存集落などに点在する空き家の有効活用を促進し、多様な世代や家族形態のライフスタイルに対応した住環境の整備を図ります。

## ③ 自然・歴史・文化を活かした地域づくり

### 歴史的文化的資源を活かした魅力的な地域づくり

- ふれあい坂田池公園は、スポーツ・レクリエーション施設が整備されており、今後も健康づくりや交流の拠点として維持管理の適切な実施と機能の充実を図ります。また、隣接する坂田城跡・梅林や栗山川を結ぶ水路脇の道路等を利用した歩行者交通動線の確保により、ネットワーク化を図るとともに、イベント開催時における連携などを推進します。
- 坂田城跡・梅林周辺は、地域の歴史や自然環境・農林業環境を体験・学習できる交流拠点として位置づけます。また、坂田城跡の斜面緑地は、坂田池に映える美しい里山景観を形成しており、保全・育成を図ります。
- 広済寺は、国無形民俗文化財である鬼来迎の舞台として貴重な歴史的・文化的資源であり、周辺環境の保全を図るとともに、栗山川や坂田城跡等歴史的資源とを結ぶ歩行者交通動線等の確保によりネットワーク化を推進します。



鬼来迎

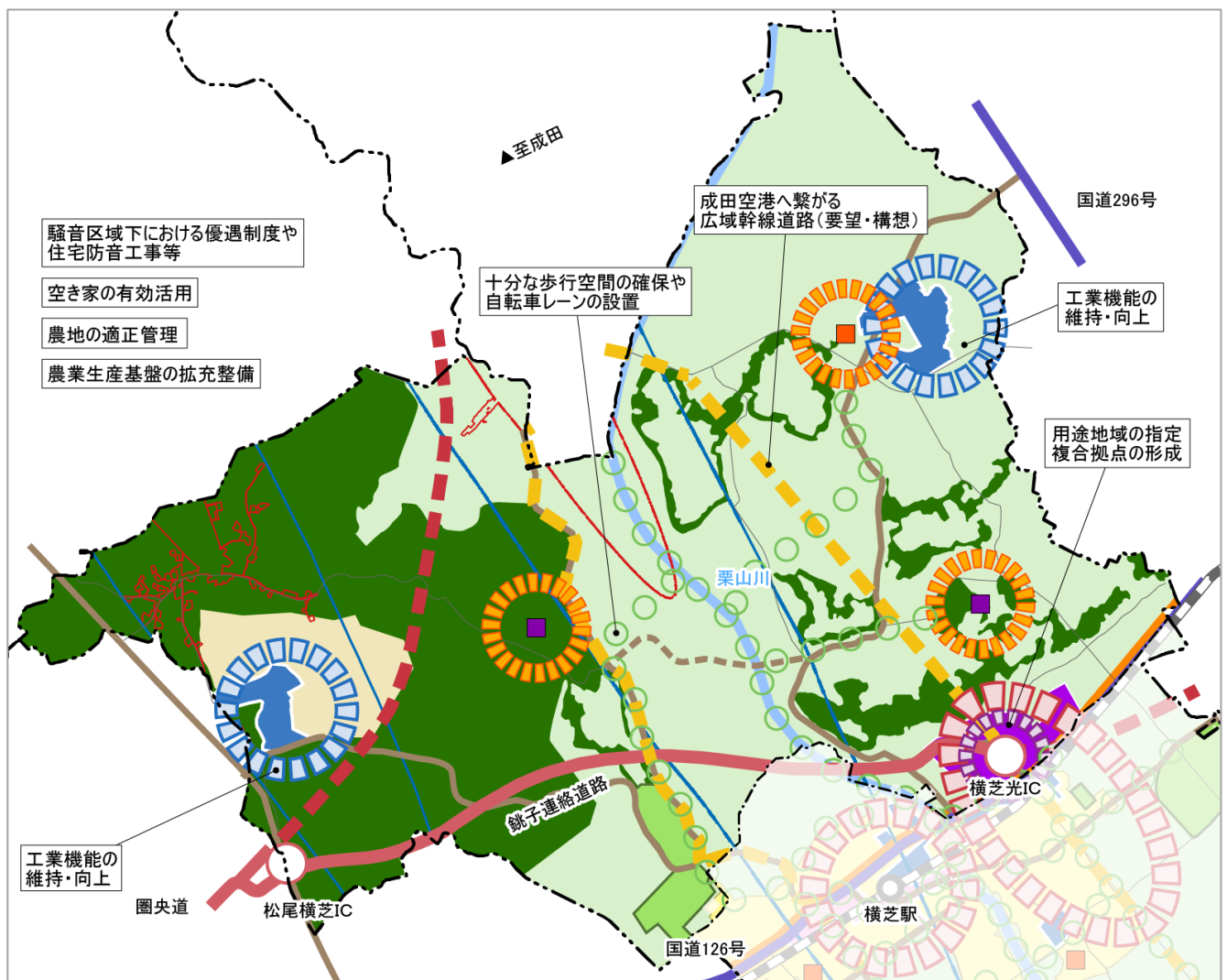
### 豊かな自然を活かした魅力的な地域づくり

- 栗山川については、北部地域の中央にあたる地区に良好な自然・水とふれあえる親水空間・交流の場づくりを推進します。併せて、地域の人々等が集まりやすいように周辺の主要な施設や旧大総小学校、日吉小学校、旧南条小学校を中心とした各生活交流拠点とのネットワーク化を推進します。
- 地域に広がる丘陵の樹林・斜面林と田園は、貴重な景観を呈しており、それらの保全・育成を図ります。

## 自然災害に備えた地域づくりの推進

- 本地域には河川周辺に大雨等による浸水被害が想定されるエリアが広がっていることから、栗山川を中心とした総合的な治水対策を推進します。
- 急傾斜地等土砂災害の危険箇所については、土砂災害を未然に防止し、被害の軽減を図るため、保水機能を持つ森林・池等の保全やがけ崩れ・土砂流出を抑える斜面緑地の保全・充実などの災害防止策を講じます。

## (5) 地域づくりの方針図



### 凡例

|  |         |  |              |  |               |  |                       |
|--|---------|--|--------------|--|---------------|--|-----------------------|
|  | 都市拠点    |  | 商業・業務地       |  | 台地・斜面林        |  | 広域幹線道路                |
|  | 産業拠点    |  | 沿道サービス地      |  | 海浜地域          |  | 主な幹線道路                |
|  | 海浜交流拠点  |  | 複合拠点         |  | ゴルフ場          |  | 主な幹線道路(新設)            |
|  | 複合拠点    |  | 大規模公園・緑地     |  | 河川(栗山川)       |  | 自動車専用道路               |
|  | 生活交流拠点  |  | 一般住宅地        |  | 水と緑のネットワーク    |  | 自動車専用道路・地域高規格道路(新設)   |
|  | 小学校     |  | 海浜住宅地        |  | 航空機騒音障害防止特別地区 |  | 成田空港へ繋がる広域幹線道路(要望・構想) |
|  | 小学校(閉校) |  | 産業地          |  | 航空機騒音障害防止地区   |  |                       |
|  |         |  | 田園地域(田園・集落地) |  |               |  |                       |



### 3 中央地域

#### (1) 地域の概況

##### 【位置】

町の中央部に位置し、横芝地区と東陽地区からなり、山武市、匝瑳市に接しています。

##### 【土地利用】

地域の北側を東西方向に通る国道 126 号沿道と、それから南側に伸びる主要地方道横芝上堺線及び一般県道横芝停車場白浜線沿道において市街地が形成され、用途地域が指定されています。国道 126 号沿道及び横芝駅周辺に商業地の分布がみられ、そのうち国道 126 号沿道には近年比較的規模の大きいロードサイドショップの立地が進んでいます。

南側に伸びる幹線道路沿道に住宅地の分布がみられます。さらにその周辺に農地が分布し、小規模集落が散在してみられます。

役場周辺に図書館、町民会館、体育館、光中学校等の公共公益施設が比較的集積しています。地域内には、そのほか東陽病院や健康づくりセンター「プラム」、光小学校、横芝小学校などがあります。国道 126 号沿道と地域南側の北清水地区に工業地の形成がみられます。

成田空港の更なる機能強化に伴い、横芝地区は全域が、東陽地区は一部が騒音区域となり、横芝地区の横芝駅周辺市街地及び南部の田園部には、航空機騒音障害防止地区の指定がされています。

##### 【交通条件】

地域の北側に広域幹線道路である国道 126 号が東西方向に通り、銚子連絡道路の横芝光 IC が近くにあります。幹線道路として上記 2 路線のほか主要地方道横芝下総線バイパス、主要地方道横芝上堺線、町道 I-22 号線、I-9 号線等が通っており、主要地方道横芝下総線バイパスと主要地方道横芝上堺線の整備が現在進められています。

公共交通としては、地域の北側を国道 126 号に沿って東西方向に JR 総武本線が通り、ほぼ中央部に横芝駅があります。横芝駅を中心に町内バス及び本町と成田空港とを結ぶ横芝光号成田便のバス交通とデマンドタクシーが運行されています。

##### 【人口等】

人口は平成 12 年から 17 年にかけて増加しましたが、平成 17 年以降は減少傾向にあります。世帯数は微増で、少子高齢化が進み、高齢化率は平成 27 年で 32.2%（町平均 33.7%）となっています。

##### 【公園、地域資源】

地域内には、公園として、光文化の森公園や栗山平和公園などがあります。

地域資源として、上記公園のほか、地域の中央部を流れる栗山川（ふるさとの川整備事業による整備）、乾草沼（貴重な生物や植物が生息する海跡沼）などがあります。

## (2) 地域の課題

### 《課題①》

利便性が高く多くの人々が集う町の中心地区としての活性化が求められます。

#### 《対応方向①》

- 都市拠点の形成とタウンセンターとしての機能強化
- 駅周辺の既存商業地の活性化
- 保健福祉医療拠点の機能強化と連携強化
- 市街地内幹線道路の整備促進
- 横芝駅における交通結節機能の維持・充実

### 《課題②》

町の中心地区としての魅力を高めるためのまちの顔づくりが求められます。

#### 《対応方向②》

- 都市拠点にふさわしい魅力ある景観づくり
- 町の顔となる横芝駅前と横芝光 IC へのアクセス道路及び国道 126 号等幹線道路沿道における美しく快適な景観づくり
- 栗山川等の自然環境の保全と魅力ある親水空間づくり

### 《課題③》

多くの人々が居住している地区を安全で住みやすくすることが求められます。

#### 《対応方向③》

- 市街地周辺部の幹線道路バイパス線の整備促進による市街地内の歩行者等の安全性確保
- 住宅防音工事等を含めた良好な住環境の保全・改善
- 人にやさしく地球にやさしい都市環境の形成（バリアフリー化、エコ化等）
- 防災拠点としての機能強化と避難路の確保等による防災性の向上
- 汚水適正処理の推進による栗山川、水路等の水質改善
- 総合的な治水対策
- 無秩序な市街化の抑制と優良農地の保全

### (3) 地域づくりの目標

#### まちの玄関口にふさわしい都市拠点とゆとり・潤いのある居住環境

まちの玄関口となる横芝駅や役場等が立地する中央地域は、都市拠点として都市機能の充実や景観づくりを行うことで魅力的な地域づくりを推進します。

また、既存市街地における騒音対策の充実や安全対策をはじめ、成田空港の更なる機能強化に伴う新規住者の受け皿となる新たな居住地の創出など、誰もが快適に暮らすことができる居住環境の形成を図ることで、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進します。

### (4) 地域づくりの方針

#### ① 都市機能の充実と町の玄関口としての顔づくり

##### 町の中心地区（都市拠点）にふさわしい町民ニーズに対応した都市機能の充実

- 国道 126 号沿道から東陽病院周辺にかけての地区については、商業・行政・教育・文化・福祉・コミュニティ施設等が集積していることから、都市拠点として位置づけ、高度化・多様化する町民ニーズに対応し、それらの機能の拡充整備を図ることにより、町民の生活を支える魅力ある拠点づくりを目指します。
- 役場周辺地区については、補完的な商業機能の導入や、文化機能、情報サービス機能、防災機能等の整備・充実を図ることにより、タウンセンター地区として町民の交流とふれあいの場づくりを推進します。
- 東陽病院周辺地区については、周辺の保健施設や福祉施設との連携や機能の集積等を図り、保健・福祉・医療施設の集積地としての機能強化を図ります。
- 公共公益施設が集積する都市拠点（IC・役場周辺）周辺においては、生活利便性を享受できる新たな居住地の確保に向けて、市街地に近接する農地の転用や用途地域の指定など、計画的な住環境整備に向けた総合的な取組を推進します。



東陽病院

##### まちの玄関口としての魅力ある顔づくり

- 役場周辺地区については、本町の中心となるタウンセンターにふさわしい景観づくりを進め、周囲の田園風景と調和しながら都市的景観づくりを推進します。
- 横芝駅周辺については、本町の玄関口としての魅力ある顔づくりやポテンシャルを活かした新たな土地利用の促進、栗山川の親水空間との連携などにより、魅力的で回遊性のある中心地区・商業地の形成を目指します。

- 国道 126 号沿道については、駅周辺の商業地との機能分担を図りながら、適切な土地利用の誘導を行い、本町の骨格道路の沿道にふさわしい、にぎわいを感じさせる沿道環境・景観の形成を推進します。
- 町道 I-22 号線は、横芝光 IC からの新しい玄関口として、魅力ある沿道景観の形成に努めます。

### 交通結節点としての機能強化と交通環境の整備

- 横芝駅南側周辺地区については、市街地環状幹線道路の整備推進による通過交通の抑制と併せ、地区内における安全で快適な歩行者空間づくりに努めるとともに、交通結節点としての機能強化を図ります。
- 国道 126 号沿道の商業系用途地域から横芝駅周辺にかけての地区は、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりに向けて、自動車に依存せず、公共交通や徒歩、自転車で生活できる環境づくりを推進します。歩行者や自転車が安全で快適に通行できる道路空間を形成するとともに、歩行者の安全性が高まるような歩行者・自転車空間のネットワーク化を図ります。
- 横芝駅及びその周辺エリアは、町の拠点として駅前広場や情報交流館「ヨリドコロ」など、交通結節機能や観光・交流機能を有しています。今後も都市拠点として商業・業務・サービスなど多様な機能の維持・充実を目指すとともに、バリアフリーに対応した駅及びその周辺の環境の整備を推進します。
- 町から都内までのアクセス性の向上を目指し、横芝駅発着便増加を促進します。特に利用者が多くなる通勤時間帯の発着便数増加を促進することで居住地としての利便性向上を図ります。
- 空港へ直結する幹線道路（要望）については、空港関連施設の就業者等の通勤や空港からの観光客の本町へのアクセス等、定住者の確保や観光振興に大きく関わるものであることから、最優先での整備を促進します。



横芝駅

## ② 安全で良好な居住環境の形成と田園集落環境の保全・育成

### 安全で良好な居住環境の形成

- 幹線道路のバイパス線等の整備促進による市街地内における安全な交通環境の形成を図ります。
- 都市拠点周辺の住宅市街地について、合併処理浄化槽の普及促進等により、衛生的で清潔な市街地環境・良好な居住環境の形成を図ります。
- 成田空港の更なる機能強化に伴う空港関連施設の立地及び就業者の増加を大きな機会と捉え、空港関連施設の就業者や、新型コロナウイルス感染症の影響による地方への移住ニーズを有する都心居住者を主なターゲットとして、市街地内の未利用地や市街地に近接する土地を活用して居住地の創出を推進します。



- 成田空港の更なる機能強化に伴う空港関連施設の就業者等の定住の場や、町内での住み替えの場として空き家の有効活用を促進し、多様な世代や多様な家族形態のライフスタイルに対応した住環境の整備を図ります。
- 成田空港の更なる機能強化に伴う就業者の増加を踏まえ、市街地に近接する農地については、新たな居住地の確保に向けて、用途地域の指定等を行うことで住環境整備を推進します。

### 騒音対策の充実

- 航空機騒音障害防止地区となる横芝駅周辺の市街地においては、引き続き住民が安全・安心に居住できる環境を確保していくため、騒音区域下住宅における優遇制度や、住宅防音工事等により住環境の悪化を最大限抑える取組を推進します。
- 成田空港の更なる機能強化に伴い航空機騒音障害防止地区に含まれる第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域については、住居のみならず店舗や事務所等、複合的な土地利用に向けて用途地域の見直しを行い、既存市街地における都市機能の維持・充実と人口密度の確保を図ります。

### 田園集落環境の保全・育成

- 市街地周辺において無秩序な都市化を抑制し、農地の保全に努めます。
- 集落地において、生活道路、身近な公園、排水施設の整備拡充により集落環境の向上に努めます。
- 低炭素まちづくりの実現に向けて、交通・土地利用・環境などの本町の地域特性を踏まえながら、多面的な視点で温室効果ガスの排出抑制に係わる一体的な取組を推進します。

### 自然災害に備えた地域づくりの推進

- 多くの住民が居住する既成市街地では、建築物の耐震診断や耐震改修を促進し、地震に強い都市づくりを推進するとともに、都市計画道路等幹線道路の整備とその沿道建築物の不燃化対策の促進などにより、延焼遮断機能の強化を図ります。
- 被災時の防災拠点となる横芝小学校や消防署、町民会館や文化会館等の公共施設については、Wi-Fi 整備や非常用電源設備の充足、備蓄・資器材など防災機能の更なる充実に取り組み、町全体の防災体制の強化を図ります。



町民会館



文化会館

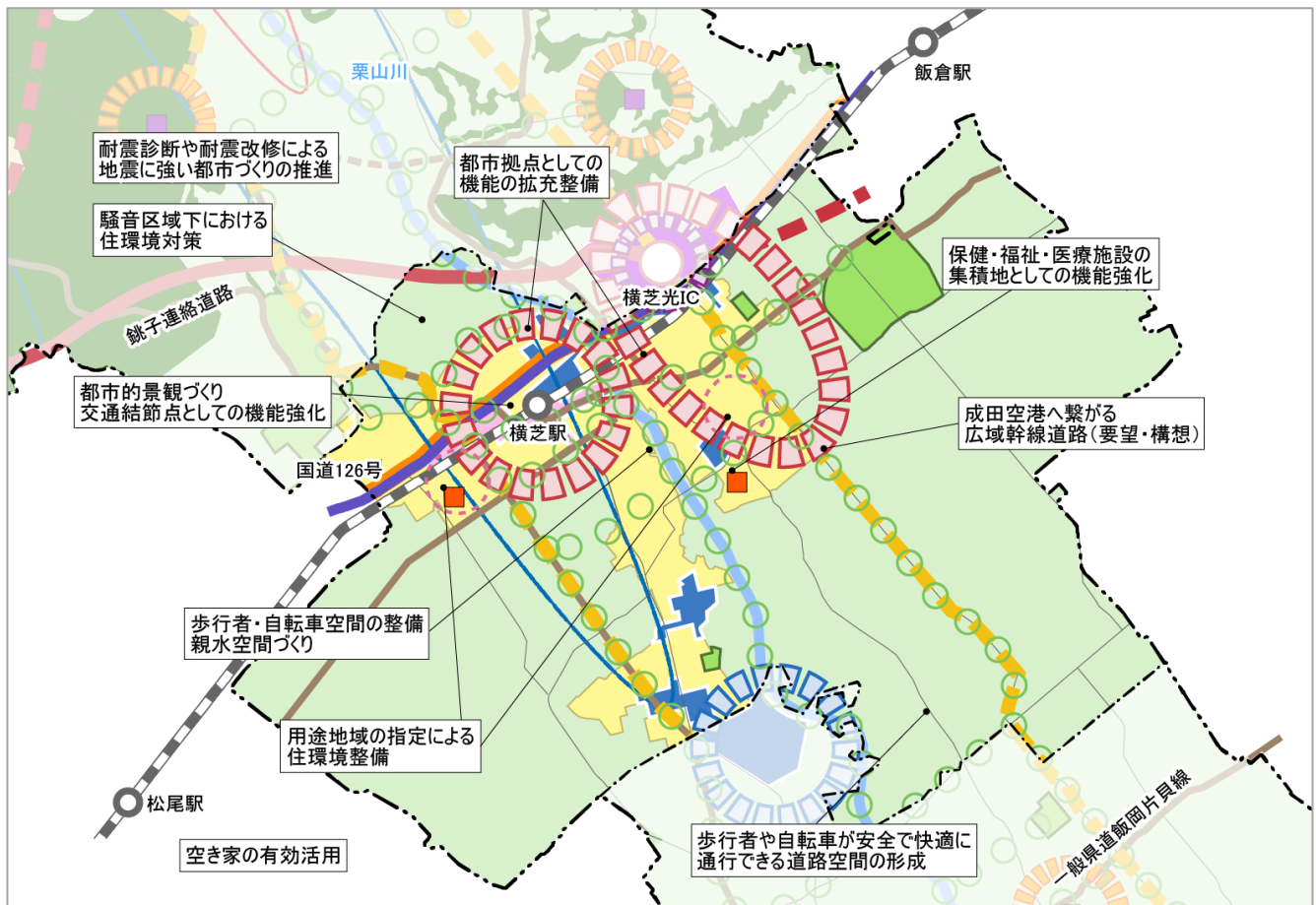


### ③ 潤いのある空間づくりと市街地との連携強化

#### 栗山川の潤いのある空間づくりと市街地との連携強化

- 栗山川については、広域的な上水、農業用水の重要な水源でもあることから水質の改善に努めるとともに、本町のシンボル軸・景観軸として、ふるさとの川整備事業の促進による遊歩道の設置とともに、地域住民をはじめとして本町への来訪者等多くの人々が集い憩う魅力的な親水空間づくり等により、環境・景観形成を推進します。
- 回遊性の向上を図るため、栗山川の堤防上の歩行者・自転車空間の整備と堤防の除草や美化活動を推進し、河川機能の高度化を推進します。

### (5) 地域づくりの方針図



#### 凡例

|  |         |  |              |  |               |  |                       |
|--|---------|--|--------------|--|---------------|--|-----------------------|
|  | 都市拠点    |  | 商業・業務地       |  | 台地・斜面林        |  | 広域幹線道路                |
|  | 産業拠点    |  | 沿道サービス地      |  | 海浜地域          |  | 主な幹線道路                |
|  | 海浜交流拠点  |  | 複合拠点         |  | ゴルフ場          |  | 主な幹線道路(新設)            |
|  | 複合拠点    |  | 大規模公園・緑地     |  | 河川(栗山川)       |  | 自動車専用道路               |
|  | 生活交流拠点  |  | 一般住宅地        |  | 水と緑のネットワーク    |  | 自動車専用道路・地域高規格道路(新設)   |
|  | 小学校     |  | 海浜住宅地        |  | 航空機騒音障害防止特別地区 |  | 成田空港へ繋がる広域幹線道路(要望・構想) |
|  | 小学校(閉校) |  | 産業地          |  | 航空機騒音障害防止地区   |  |                       |
|  |         |  | 田園地域(田園・集落地) |  |               |  |                       |

## 4 南部地域

### (1) 地域の概況

#### 【位置】

町の南部に位置し、上堺地区と白浜地区からなり、山武市、匝瑳市に接しています。

#### 【土地利用】

地域の南側を東西方向に通る主要地方道飯岡一宮線沿道に市街地が形成され、用途地域が指定されています。また、一般県道飯岡片貝線沿道と主要地方道横芝上堺線及び一般県道横芝停車場白浜線の沿道を中心として、集落が分散的にみられます。

上堺小学校と白浜小学校周辺において、店舗や公民館、集会所、郵便局、保育所等の公共公益施設の分布がみられます。

#### 【交通条件】

地域の東西に、幹線道路となる主要地方道飯岡一宮線、一般県道飯岡片貝線、町道Ⅰ－14号線、南北に主要地方道横芝上堺線と町道Ⅰ－22号線が整備されています。

公共交通としては、地域と横芝駅を結ぶ町内バス及び成田空港と屋形海岸とを結ぶ空港シャトルバスのバス交通とデマンドタクシーが運行されています。

#### 【人口等】

人口は減少傾向にある一方で、世帯数は増加傾向にあります。少子高齢化が進み、高齢化率は平成27年で34.5%（町平均33.7%）となっています。

#### 【公園、地域資源】

地域内には、公園として、マリンピアくりやまがわと光しおさい公園などがあります。

地域資源として、木戸浜・尾垂浜（アカウミガメ、ハマヒルガオ群落、コアシサシの生息地としても知られる）、屋形海岸があり、夏季には海水浴場が開設されます。また、栗山川河口部には栗山川漁港とその後背地の遊水池などがあります。海岸部一帯は県立九十九里自然公園に指定されています。

## (2) 地域の課題

### 《課題①》

豊かな地域資源を活かした海浜レクリエーション地としての活力が求められます。

#### 《対応方向①》

- マリンピアくりやまがわ・栗山川漁港周辺における海浜交流拠点の形成
- 栗山川沿いの交流施設・親水機能の形成や光しおさい公園等既存施設の機能拡充・活用促進による交流の促進

### 《課題②》

安全安心で魅力的な居住環境が求められます。

#### 《対応方向②》

- コミュニティ中心地の育成と、主要地方道飯岡一宮線沿道の海浜住宅地及び集落地の環境改善
- 主要地方道飯岡一宮線バイパスや町道 I - 14 号線等地域の東西を結ぶ道路交通体系の形成促進
- 津波・高潮に備えた水害対策
- 総合的な治水対策と栗山川の水質浄化の推進

### 《課題③》

豊かな自然を活かし、誇りの持てる地域づくりが求められます。

#### 《対応方向③》

- 海浜部の砂浜と保安林により美しい白砂青松が広がる海浜景観と豊かな自然環境の保全・育成
- 優良農地の保全と風情のある田園景観の保全・育成

### (3) 地域づくりの目標

#### 海浜部の特性を活かした海浜交流拠点と魅力のある居住環境

美しい海浜部の特性を活かし、海浜住宅地を形成するとともに海浜交流拠点として町内外からの来訪者が訪れる活気ある地域づくりを推進します。また、田園景観に配慮しながら集落部における、居住環境の維持・向上を図ることで魅力ある地域づくりを推進します。

### (4) 地域づくりの方針

#### ① 地域資源を活かした海浜交流拠点の形成

##### 四季を通じて魅力と活気のある海浜レクリエーション地の形成

- 海浜部は、砂浜と保安林による白砂青松の海浜環境・景観を将来にわたって保全・育成していくことを基本として、町民や来訪者が海水浴や散策などを心地よく楽しむための機能（駐車場・散策路・案内板等）の維持・充実を図ります。
- 栗山川漁港及びマリニピアくりやまがわ周辺地区について、通年型の海浜レクリエーションの場として、空港シャトルバスの広域交通の利便性を活かし、栗山川漁港、横芝海浜の森及びその北側遊水池、こどもの国跡地等を活用した自然環境と調和したレクリエーション施設等の整備を推進します。
- 主要地方道飯岡一宮線と主要地方道横芝上堺線及び町道Ⅰ-22号線については、海浜レクリエーション地の骨格道路として、地域住民との協働の都市づくりのもと、魅力ある沿道景観の形成に努めるとともに、集客店舗の誘致を推進します。
- 町を縦断する栗山川の立地特性を最大限に活かすため、歩行者・自転車空間の整備や河川親水施設の整備を図り、憩いや交流拠点の形成を進めます。



九十九里海岸

#### ② 交通体系の形成

##### 地域の一体性の確保と地域の交流環境を支える道路交通体系の形成

- 地域の一体性を高めるため、東西方向に計画されている町道Ⅰ-14号線の整備や太平洋岸自転車道及び主要地方道飯岡一宮線バイパスの整備を促進します。
- 地域住民や本町への来訪者の交流の場として、地域の中央を流れる栗山川沿いを中心として、憩いの場（親水空間）づくりを促進するとともに、光しおさい公園やマリニピアくりやまがわ等既存施設との連携を強化します。

- 空港へ直結する幹線道路（要望）については、空港就業者の通勤や空港からの観光客の本町へのアクセス等、定住者の確保や観光振興に大きく関わるものであることから、最優先での整備を促進します。
- 歩行者が安全・安心に移動ができる環境づくりに向けて、十分な歩行空間の確保や自転車レーンの設置など、ハード面の環境改善を図るとともに、自転車利用者の交通ルールの順守やマナー向上に向けた啓発活動の実施など、ソフト面からも安全対策を推進します。

### ③ 居住環境の向上

#### 地域中心地における利便性と居住環境の向上

- 小学校の周辺地区については、生活中心地（生活交流拠点）として商業施設や情報サービス施設、医療・福祉施設、身近な公園・広場、防災施設等の生活サービス機能の整備・拡充を図り、地域における日常生活の交流・活動の拠点づくりを目指します。
- 周辺に広がる既存集落においては、幹線道路への歩道の設置や生活道路・排水施設の整備、合併処理浄化槽の普及促進等による居住環境の改善を図ります。

#### 海浜部の特性を活かした多様で魅力ある海浜住宅地の形成

- 主要地方道飯岡一宮線沿道の海浜住宅地については、海浜レクリエーション地として緑に囲まれたゆとりある敷地を持つ戸建て住宅のほか、飲食店、旅館・民宿・ペンション、別荘、保養所、セカンドハウス等が立地した複合的な市街地の形成を推進します。
- 海に近い特性を活かし、地域に点在する空き家の有効活用を図りながら、若者世代の移住・定住先、ワーケーションや二地域居住などの場として、多様なライフスタイルに対応可能な魅力ある居住地の形成を目指します。



海を活かした定住促進

#### 自然災害に備えた地域づくりの推進

- 海に面する本地域においては、津波や高潮などの水害対策として、栗山川の堤防かさ上げなどのハード整備を関係機関との連携・協働のもとで促進します。
- 浸水被害が想定されるエリアにおいては、浸水リスクの積極的な周知を図るとともに、津波避難ビルや避難路の確保・充実に努めます。



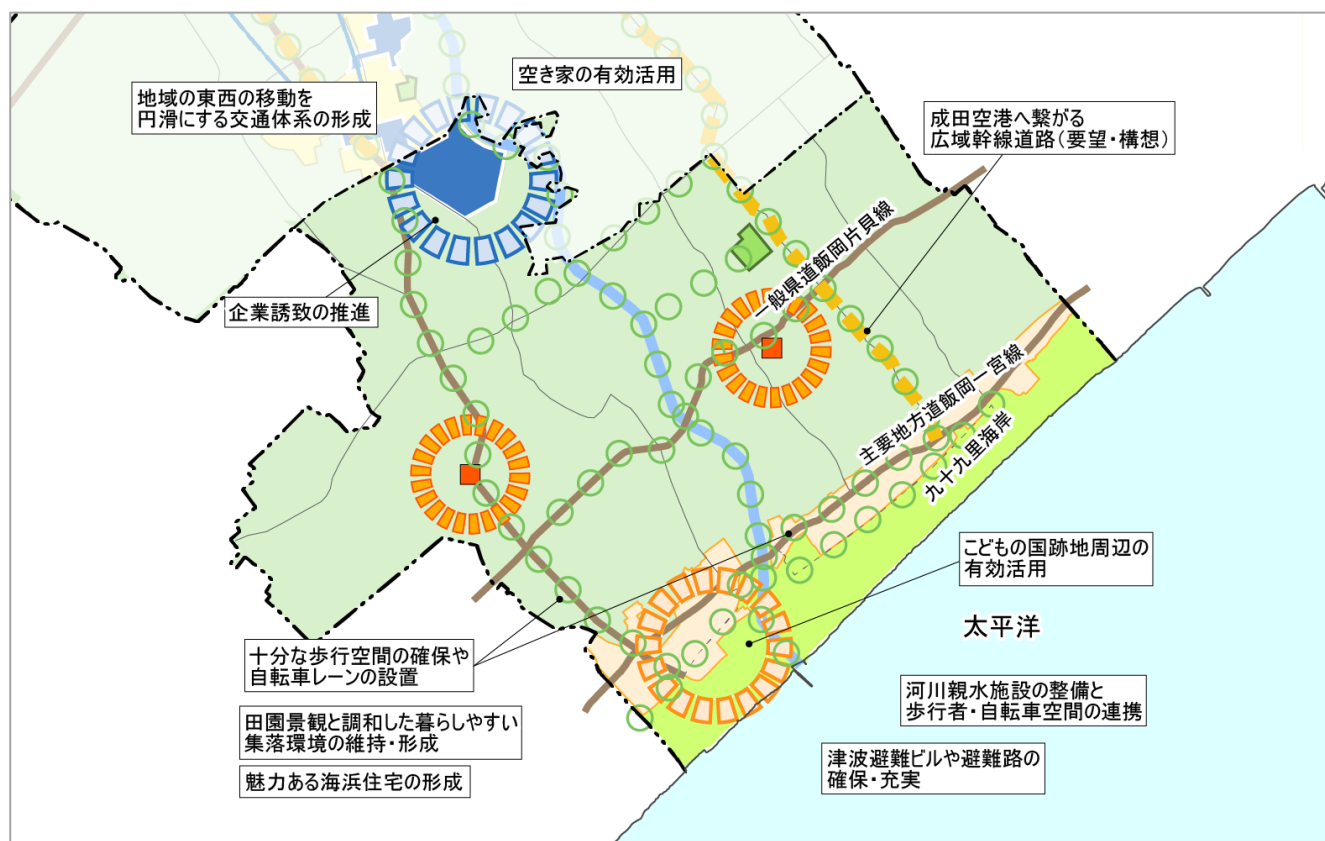
上堺小学校の津波避難用の外階段



## 田園景観の保全・育成と暮らしやすい集落環境づくり

- 集落地については、無秩序な市街化を抑制し、農地の保全に努めるとともに、周辺の田園景観と調和した暮らしやすい集落環境の維持・形成に努めます。
- 農地は、温室効果ガスの吸収源としての役割も担うことから、引き続き、積極的な利用に基づく農地の保全・管理を図ります。

## (5) 地域づくりの方針図



### 凡例

|  |         |  |              |  |               |  |                       |
|--|---------|--|--------------|--|---------------|--|-----------------------|
|  | 都市拠点    |  | 商業・業務地       |  | 台地・斜面林        |  | 広域幹線道路                |
|  | 産業拠点    |  | 沿道サービス地      |  | 海浜地域          |  | 主な幹線道路                |
|  | 海浜交流拠点  |  | 複合拠点         |  | ゴルフ場          |  | 主な幹線道路(新設)            |
|  | 複合拠点    |  | 大規模公園・緑地     |  | 河川(栗山川)       |  | 自動車専用道路               |
|  | 生活交流拠点  |  | 一般住宅地        |  | 水と緑のネットワーク    |  | 自動車専用道路・地域高規格道路(新設)   |
|  | 小学校     |  | 海浜住宅地        |  | 航空機騒音障害防止特別地区 |  | 成田空港へ繋がる広域幹線道路(要望・構想) |
|  | 小学校(閉校) |  | 産業地          |  | 航空機騒音障害防止地区   |  |                       |
|  |         |  | 田園地域(田園・集落地) |  |               |  |                       |

